



彩雲 撮影:榮賀 明

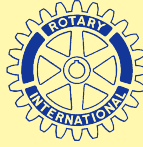
VOL. 2767 Rotary International

「原点に帰り実践する」

第2767回例会 2023.2.15

ソング「日も風も星も」

例会日:毎週水曜日 12:30
例会場:ホテルグランド富士
TEL(0545)61-0360
事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
ホテルグランド富士内
会長:池田 正明
副会長:山下 いづみ
幹事:佐野 力哉
副幹事:田邊 登崇



富士ロータリークラブ *WEEKLY*

<http://fuji-rc.com/>

会長挨拶

池田 正明



ロータリーの友2月号の記事に、新人会員を獲得する為に体験例会を行っているというクラブがありました。会員候補者に例会に参加してもらい、クラブの雰囲気を知っていただくためのものです。富士ロータリークラブでも行ったことはありますが、一人よりも複数人で参加していただく事により同期意識が芽生えて、若くて優秀な会員が男女共次々と入会しているようです。

また、緊張を和らげる為、参加者が楽しめる何らかの企画を行うのも効果が有るようです。

我がクラブにおいても昼夜問わず、これはと思われる例会に会員候補者が複数で出席していただくように計画を立てる事も必要ではないでしょうか。

ロータリーを知り、ロータリーを楽しむ富士ロータリークラブを知っていただき、楽しんでいただきたい。その為に何をすべきか皆で考えましょう。

トルコ、シリアで巨大地震が発生し、多くの死者、負傷者が出ています。生活の基盤が破壊され、悲惨な状況になっています。私達も何らかの形で支援活動を行う事が必要ではないでしょうか。

親睦委員会

田村 洋

会員誕生日	瀬尾 究	S 1 5 . 2 . 5
	小出 隆久	S 2 3 . 2 . 9
	田邊 登崇	S 4 5 . 2 . 1 0
	池田 正明	S 2 3 . 2 . 1 7
	山下 いづみ	2 . 1 0
夫人誕生日	野崎 ユリ	2 . 1 9
	岸本 和子	2 . 2 6
入会記念日	榮賀 明	H 2 8 . 2 . 1 7
	宮下 正雄	S 6 1 . 2 . 1 9



お誕生日
おめでとう
ございます

★私のスマイル

吉野榮司君 プログラム委員会の吉野です。本日の卓話は日本語学校の近藤先生です。宜しくお願い致します。

太田義隆君 先週のおでんの会、親睦委員会の皆さん、ありがとうございました。

池田大祐君 何となくスマイルします。まだまだ寒さも続きますが健康を大事に頑張ります。

本日合計 ¥5,000 7月からの累計 ¥140,000

出席報告

田村 洋

2767回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
31名	31名	8名	23名	74.1%

2765回 2/1確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
31名	31名	9名	22名	70.1%

例会プログラム予告

3月1日 クラブフォーラム (会員増強)

3月15日 夜間例会 or 昼例会

卓 話

富士山日本語学校

校長 近藤智恵美様



本日はまず当校のここ数年の動きについてご報告し、次に日本語教育の環境と教育活動がかなり大きく変化しようとしておりますので、その辺りについて簡単にご説明できたらと思っております。そして最後に、この2年、私が力を入れております「ミャンマーの平和を願っての活動」について少し触れさせていただけたらと考えております。ではよろしくお願いたします。

ではこちらのパワーポイントの方をご覧ください。ここ数年と申しながらこの写真はこの一年のものとなっております。皆様には本当にお世話になっております。春から始まりまして、次第に交流活動が解禁され、コロナが落ち着き、少し自由な活動ができた、そんな一年となりました。こちら二枚目のこの写真はロータリーの皆さまが静岡ガスさんで国際交流クッキングを開催くださったときのものです。今月もまたございます。どうぞよろしくお願いたします。夏は吉原の祇園祭、秋は地元富士駅南のハロウィンイベントに参加させていただいたときのものです。年末の町のゴミ拾いボランティア活動にも参加致しました。それから、防災訓練にも参加させていただきました。また、非常食をすごく嬉しそうに食べてますけれども、これは廃棄寸前のものをいただきまして、自分に合う味を見つけてもらうために食べてみました。いざっというときに、口に合わないものをもらってしまうと悲しいこととなりますので…。そして、FILSが毎年なさっていたYEAR END PARTYも以前同様とはいきませんが、開催され、こちらのほうにも参加させていただきました。このように今年度はかなり交流活動が戻ってきた嬉しい一年となりました。

では、この数年はどうだったかと言いますと2020年4月、コロナにより入国禁止となり、入国できたのはたった15名で、これからどうなるんだろうと思いました。そしてその年11月には一時入国解除となりましたが、30名入ったところで、また12月に入国禁止となりました。ここからなんと約一年、学生が入ってこないということになりました。そして2022年度、今年の4月1日の時点ではなんと在校生が12人のみという恐ろしいことが起きておりました。皆さまにもご心配をおかけいたしました。そして、4月から6月にかけて入国解除となりまして、一気にそこから約82人の未入国だった学生と、それから4月生が入ってきまして、12人からなんと92人に一気に学生が増えまして、休んでいた先生方にもまた戻ってきていただいたりとかしながら、私はこの頃はほとんど成田空港に数日に1度詰めているような状態でしたので、もう授業に入ることもできませんし、かなり大変な状況にありました。そして7月にはまあ落ち着きまして、7月11人が入国、10月には12人が入国ということで、約120人弱という学生が在籍しているような状況となっております。(中略)

次に、日本語教育業界の動きですが、こちらのアクティブラーニングの方からご説明させていただきますと、学習者は主体的に学ぶべきであり、教師が教えるのではなく自分で考える力が育たない、これは日本の小中高でも言われて久しいことですが、私たち日本語学校はどうしても2年間で短期的に漢字もグッと1500

ぐらい教えなければなりませんし、様々な文法を詰め込んで行かなければならないということで、どうしても詰め込みから脱却できなかった日本語教育なんですけれども、これを少し見直しましょうとなり、その一つとして、このヨーロッパで参照している言語教育参照枠というのがございます。これをベースに日本語教育参照枠というものを作られて、どのように日本語を教えた方がいいか？そしてどのように評価していったらいいかということで、現在、日本教育業界がかなり、大きく変化して行く過渡期となっております。ただ、そこでやはり問題なのが、就職するときも進学する時もJLPT(日本語能力検定試験)のN2、N1を求められるのですが、ではいったいこの教育の中でたった1年、2年で試験に合格できる教育ができるのかというところが、私たち日本語学校の悩みとなっております。(中略)

では、最後にミャンマーの情勢についてお話ししたいと思います。

私たちは、このようなミャンマーの民主化を望む人々を支援したいということでミャンマー星、以前にもご紹介させていただきましたが、こちらで支援活動させていただいております。先日山下さんをはじめ、国際交流のWAの皆様にご支援をいただき、ミャンマー星を富士市の国際交流フェアでご紹介することが出来ました。

それから、広がる活動ということで、静岡市のギャラリーで、先日クーデターから2年ということで写真展を開催させていただきました。一週間もないような告知期間でありましたが、東京外語大の先生がいらっしゃるなど驚きの出会いがたくさんありました。実際、その日本の大学の教授の方々も軍派とアウンサンスーチー派と言うのもおかしいですが、分かれております。これは政治家もそうです。その辺がすごく難しいなあと思います。ある大学生が民主化支援活動に来てくれた時に、私が来たことは絶対写真などで出さないでくれ、教授から単位がもらえなくなるということを書いていました。この日本においても軍派と軍派じゃない人たちがいると言うことが本当に驚かされました。

最後に、静岡雙葉中学校・高等学校でこのような活動をしております。こちらは川口さんですね。あとこちらは田中裕子さん、ミャンマー星の生みの親ですけれども、彼女のほうでこの間、ワークショップみたいなものもしたそうです。2月17日金曜日までやっており、最終日は一般公開もされておりますので、お時間があれば是非お願いたします。

最後に、様々なところで声をかけていただき、ミャンマー星の活動が広がっておりますが、そのミャンマー星をどのように増産できるのかというところで、町づくりセンターで活動しております。皆さまのお知り合い、コミュニティー、職場でも是非やってみようという方々がいらっしゃいましたら、ご紹介いただけますと助かります。参加費は無料で材料代もかかりません。材料代を寄付してくださるのであれば、それは、大変助かります。こちらの方は基本的に無料ですべてお配りしておりますので、ぜひこういったものを一緒に作ってみたいというコミュニティーなどがございましたらお声掛け頂けたら、是非私たちが伺ってお話ししながら、楽しく、ちょっとまじめに平和について考えられたらありがたいなと思いますので、ぜひどなたがご協力して下さりそうところがございましたら、よろしくお願いたします。

(勝手ながら誌面の都合上文章の一部を割愛させていただきました)

